

# 県写真展、入賞作決まる

## マリナートで18〜23日展示

第64回県写真展(全日本・静岡総局主催、県など後援)の入賞・入選作品が決

### カラー写真の部

まった。カラー、モノクロ、組み写真の3部門に、のべ326人から計2397作品の応募があり、写真家の小林紀晴さんが審査し

て最優秀賞などを決めた。入賞・入選作品は18〜23日、静岡市清水文化会館マリナート1階ギャラリーで展示される。入場無料。問い合わせは県本部事務局(054・247・2515)へ。

【最優秀賞】「田楽灯籠の子」松浦昭宏(島田市) 【朝日新聞社賞】「休日」鈴木美佐子(御殿場市) 【全日写真賞】「シャッターチャンス」馬淵好彦(静岡市) 【特選】「ある日の午後」芦沢直也(富士宮市)、「一抹の寂しさ」加藤利光(函南町)、「青春ラン」望月導章(静岡市)、「出番待ち」遠藤啓(伊豆の国市)、「荒れる白波」青木照実(沼津市) 【準特選】「生命の神秘」大塚美代子(静岡市)、「登校する少女」大川道雄(下田市)、「花火が始まるヨ」鈴木茂(沼津市)、「記憶」水野隆子(静岡市)、「凍る朝」桂田美恵子(御殿場市)、「採り残されて」杉山早苗(同)、「祭り日和」大石薫(静岡市)、「黄昏」近藤文徳(同)、「最後の授業」佐藤陸(小山町)、「半重力」島林大祐(沼津市)、「霧の散歩道」尾藤功次(浜松市)、「青空に向けて歩こう」鈴木正行(同)、「初冠雪の朝」横山博(富士市)、「花冷え」池田三吉(三島市)、「先生走る!」高瀬幹雄(富士宮市)、「ぬえの主は少女」野崎三郎(函南町)、「春の散歩道」竹下賢治(静岡市)、「庭先」小西武(焼津市)、「のんびり屋さん」市毛磨須美(沼津市)、「夏の日」中田美智雄(掛川市) 【入選】高野優(静岡市)、「平井省吾」(富士市)、「笹沼昭二」(三島市)、「村岡雅也」(沼津市)、「斎藤成伸」(静岡市)、「湯川正一」(富士市)、「矢島一美」(下田市)、「勝又咲子」(長泉町)、「松永愛子」(静岡市)、「竹之内範明」(河津町)、「福島耕司」

## 最優秀賞「田楽灯籠の子」

松浦 昭宏



【評】少年たちの頭の上の灯籠(とうろう)からの明かりが美しく、とても魅力的でした。縦位置のフレーミングが整理されていて、余計なものが一切写っていないので自然に作品世界へ入っていきます。そのため全体に緊張感が出ました。

## 朝日新聞社賞「休日」

鈴木美佐子



【評】富士山を撮影した作品はけっして珍しくありませんが、この作品は一味違います。田んぼへの写り込みによって、ごく身近な存在として描かれています。なにより親子らしい人影により、写真がひとときの「出来事」になりました。

(静岡市)、加藤洋一(島田市)、諸伏敏昭(伊豆の国市)、宮本公子(富士市)、竹久忠吾(静岡市)、和田千津子(同)、勝亦将(沼津市)、神尾一(同)、横山茂(富士市)、足立達哉(御殿場市)、益田武(裾野市)、杉本徳治(掛川市)、原田直宏(浜松市)、斉藤伸也(富士市)、植松きくゑ(御殿場市)、高山甲二(浜松市)、森田光衛(河津町)、田中利次(袋井市)、柴田泰孝(磐田市)、片岡好志(焼津市)、若林茂(三島市)、北原博(浜松市)、下田啓一(御殿場市)、渡辺修一郎(函南町)、吉川正宏(静岡市)、吉田稔(同)、大和善信(函南町)、鈴木孝男(静岡市)、原田光郎(裾野市)、井上沙登子(富士市)、橋本隆之(島田市)、斎藤卓子(静岡市)、勝又悦朗(御殿場市)、藤川源次郎(磐田市)、後藤尚(富士市)、青木康(伊豆の国市)、原崎高行(焼津市)、大石洋(沼津市)、吉田拓一(浜松市)、遠藤精次(富士市)、梅原邦隆(函南町)、大島則雄(静岡市)、曾根田智

(富士宮市)、堀野良一(浜松市)、伊藤洋子(同)、西沢やえ子(静岡市)、平田弘治(富士宮市)、松井秀実(同)、塩川聡(同)、小松恵(富士市)、木下孝(静岡市)、望月昭男(同)、小林彰子(横濱市)、遠津輝男(静岡市)、田村貢(同)、尾崎道子(藤枝市)、新間美枝子(島田市)、山本修甫(焼津市)、若林信行(富士宮市)、野沢和俊(静岡市)、鈴木実(浜松市)、吉田勝次(焼津市)、石渡志津子(伊豆の国市)、鈴木武幸(沼津市)

鈴木恭之(同)、三橋昭夫(御殿場市)、河原崎久和(静岡市)、渡辺行庸(富士宮市)、沢田弘義(静岡市)、勝又公二(御殿場市)